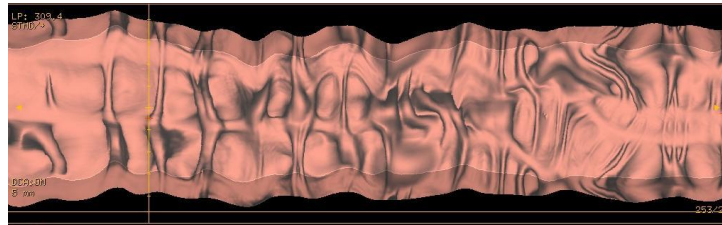


CTコロノグラフィー（仮想大腸内視鏡）

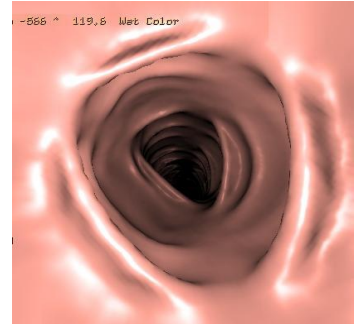


大腸3D画像

CTコロノグラフィー（CT-Colonography）とは、内視鏡やバリウム造影剤を体内に入れることなく、CT撮影から得られる信号をコンピューターで画像処理を行うことで3D画像、仮想内視鏡像を構築し、大腸の病変（ポリープ、憩室、癌など）の検出や評価を行う大腸画像診断法です。



大腸の展開像



仮想大腸内視鏡像

CT-C 検査の主な特徴

- 肛門から身体に無害な炭酸ガスを注入し大腸を十分に拡張させてCT撮影をします。
- 内視鏡を挿入することが困難な方にも最適なスクリーニング検査です。
- 大腸内視鏡検査に比べ、検査時間が10～15分と短い検査です。
- お腹全体を撮影するため、大腸以外の臓器の疾患も把握することができます。

検査前の準備について

- この検査では前日から消化の良い食事と下剤を用いて腸の中をきれいにします。

検査の流れについて

- 専用の検査着に着替え、CT検査台に横向きで寝ます。
- 医師が肛門にチューブを挿入して炭酸ガスを送り大腸を伸展させます。
- 場合によっては腸の動きを抑える注射を使用することがあります。
- 大腸が十分に拡張したら仰向けと腹ばいの2回CT検査をします。
- 撮影されたデータから仮想大腸内視鏡画像を作成します。



CT-C 検査で使用する炭酸ガスについて

- 当院ではCT-C検査で使用するガスに、腹腔鏡手術で用いられるのと同じ炭酸ガスを使用しています。
- 炭酸ガスがおなかに入っている間はおなかの張りやトイレに行きたい感じがありますが二酸化炭素なので体内に吸収されます。炭酸ガスは空気の約150倍体内への吸収が早いといわれており、数分程度でお腹は楽になります。
- 当院で使用している炭酸ガス注入装置は、ガスの送気圧と送気量の管理を自動で行うCT-C専用の装置であり、安定した大腸の拡張を得ることが出来、患者様の苦痛の軽減を可能としています。

検査費用

3割負担の場合の窓口お支払金額は約6,000円です。 ※別途前処置薬や検査食代が掛かります。

※検査にあたり、ご不明な点やわからないことがありましたら放射線科スタッフにお尋ね下さい。